

東京都台東区立一葉記念館

指定管理者の名称 公益財団法人 台東区芸術文化財団  
所管部課 文化産業観光部 文化振興課

評価委員会による評価

1 評価の観点

「評価の観点」(1)～(4)における委員会の評価については、委員会の合議により決定した。

「委員のコメント」及び「評価委員会から区への意見」については、評価の過程における多様な意見を報告書に反映するため、各委員から出された様々な意見を記載している。

(1) 事業の運営

委員会の評価	S
--------	---

(【参考】区の評価：S)

委員のコメント

良い点
<p>年間パスポートの入館者も多く、リピーターが確保されている。</p> <p>子供にも分かりやすいようにクイズ形式にするなどの、展示において細かな工夫も見られた。</p> <p>樋口一葉ファンの心をつかむ、企画展、特別展に加えてのミニ企画展や、ボランティアガイドによる「ゆかりの地巡り」など、11月の一葉祭以外でも実施するなど、各種企画の実施や、西の市に合わせた開館時間の延長などの努力により、入館者数が増加している。</p> <p>展示内容、資料数、イベント実施のみならず、関係諸団体の連携の強さをも含んでの評価から、小説家として著名な樋口一葉の記念館として、他自治体にも誇るべき施設である。</p> <p>一葉に対する特段の思い入れと愛情を有している地元町会や、地元人形師による一葉をテーマとした木目込み人形展の開催等、関係機関との密接な関係を築いていることも評価できる。</p> <p>「にごりえ」の展示では、文字では判りにくい房楊枝、五倍子(ふし)など、知りたい情報が実物で展示されており、分かりやすかった。</p> <p>「萩の舎の風景」では、一葉が短歌を勉強している状況が人形で表現されていて良かった。</p>

### 改善すべき点

年間の入館者数は増加しているが、11月に集中しており、月別に偏りが見られる。ほかの月でも入館者が増えるような仕掛けが必要。

### その他

建物も下町風の現代建築で見どころがある。

一葉という、著名だが、早くに亡くなった作家でもあり、決して派手ではない作家に特化した博物館として、しかも、限られたコレクションの中で運営している点も評価できる。

現代は残念ながら、文学に多くの人が興味を持つ時代ではなく、長期的に見ると、一葉の魅力だけではなく、一葉を軸としながら、同時代、同地域の文化、社会などにも広げて企画、発信をしていかないと、運営が難しくなるのではないかと思う。

研究者や愛好家等、様々な一葉関係者の拠点として、本館は大きな役割を果たしている。

地元による土地の買収の後、同土地を台東区に譲り渡して一葉記念館を建立したなど、設立の経緯も、その後大幅なリニューアルをしたことも、地域の物語として誇るべきと感ずる。

## (2) 施設の維持管理

委員会の評価

A

(【参考】区の評価：A)

### 委員のコメント

#### 良い点

建物の内外において保守管理が適切に行われていた。また、室内及びトイレの清掃状況からも、管理が行き届いている印象を受けた。

### (3) 利用者の満足度

委員会の評価	S
--------	---

(【参考】区の評価：S)

#### 委員のコメント

良い点
<p>気軽に立ち寄るにはちょうど良い規模の施設であり、内容と相まって、利用者の満足度につながっていると思う。</p> <p>リピーターが多く、2階に置かれた感想を書くノートや、アンケートの自由記述欄への書き込みも全国各地から相当数あり、コアなファンの心をしっかりつかんでいるという印象を受けた。</p> <p>利用者の声を積極的に施設維持管理に生かしている点が見受けられ、利用者の満足につながる運営の改善をしていると評価できた。</p> <p>「ぶらり・まちあるきマップ」は、デザイン、内容、サイズともに素晴らしいパンフレットで、利用しやすい。</p>

改善すべき点
<p>一葉ファンをしっかりつかみつつ、もう少し幅広い来館者を取り込めるにはどうしたらいいか、企画、広報の仕方に工夫があってもいいと思う。</p> <p>また、アンケートの回収率は低いので、広く来館者の意見を聞くための工夫はしたほうが良い。アンケートを入館チケットと一緒に渡すとか、回収箱を目立たせるなど、手法はあると思われる。</p> <p>特別休館日がすぐに分からないので、ホームページ上のトップページで分かるよう、休館日の日程を掲載してほしい。</p>

その他
<p>何度も施設を訪れている小学生の感想ノートへの記載内容は、一葉ファンの気持ちを代弁しているところであった。一葉本人の魅力だけではなく、本館による効果も大きい。</p> <p>ポスター張り、テントの提供、プランターの提供などから、地域住民との良好な関係にあることが確認できた。</p>

#### (4) 収入支出

委員会の評価	A
--------	---

(【参考】区の評価：A)

#### 委員のコメント

<b>良い点</b>
予算、決算の状況においては、適正な予算執行に取り組みされており、指定管理者としての経理が適切になされている。

<b>改善すべき点</b>
研修室の利用状況が低いので、もう少し広く活用してもらえそうな工夫があってもいいと感じた。

## 2 総合評価

総合評価は、6 ページに示した基準に従い、「評価の観点」の結果に応じて評価を付した。

委員会の評価	良好
--------	----

(【参考】区の評価：良好)

#### 委員のコメント

<p>リニューアルオープンして 10 年程度ということもあり、建物もきれいで感じが良く、展示も丁寧だった。学芸員の専門性も高く、不満の残らない内容になっていると思われる。ただ、一葉の代表作「たけくらべ」の舞台ではあるが、一葉が居住した土地は他にもあるので、企画・運営に工夫が必要な状況にある。長い目で見てどうしていくのか、考えた方がいいと感じる。本館の「売り」が何か一つでもできるといいと思う。一葉の資料を持っている他施設や、周辺の近代文学関係の施設との連携を強め、関連企画をし、一葉目当てではない観光客にも足を運んでもらう工夫をするのもいいと思う。また、一葉関連機関が共同でデータベースを作り公開するなど、研究者にも資するような形にすると、協力も得やすいし、外部資金も得やすくなるかも知れない。</p> <p>樋口一葉という素晴らしいコンセプト、及び建物を持っているのに、入館者数がやや少ないと思う。</p>
---

特別展の展示や、様々な一葉関係者との連携等、創意工夫がいたるところに感じられた。全体のハード（施設）やソフト（サービス）とのバランスも良い。地域や関係者に愛されている施設ということが、施設全体に表われており、関係者の大変さはあるが、評価できる。

地域とのかかわり、開館時間の延長、分かりやすい展示、内容の充実したパンフレットなどは、運営の努力として評価できる。

### 3 評価委員会から区への意見

#### 委員のコメント

研修室の利用状況が、低いのが気になる。一葉を軸としつつも、もう少し幅の広い活動に使ってもらえるよう努力した方が良いのではないか。さまざまな活動に施設を使ってもらうことで、逆に、本館の展示にも関心を持ってくれる、ということもあるかも知れない。

区立ということを考えると、地域の学校との連携を強め、近代文学や、地域の歴史を学ぶきっかけになるような仕組み作りに力を入れてほしい。

対外アピールに区の協力の継続が必要。

一葉記念館と台東区観光ボランティアのコラボレーション企画ができたらいと思う。

施設名称	〔5〕 東京都台東区立一葉記念館					
指定管理者の名称	公益財団法人台東区芸術文化財団	指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2)類似施設の管理実績	文化施設 5 箇所					
(3)経営状況	27年度決算 歳入 617,374,153円 歳出 547,768,187円 収支差額 69,605,966円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区竜泉 3 - 1 8 - 4					
(2)設置目的	樋口一葉は、竜泉寺町に住み、その体験を元に『たけくらべ』を執筆するなど、台東区にゆかりが深い作家である。その一葉に関する資料及び明治期の資料を展示公開することにより、区民文化の発展向上を図る。					
(3)利用者	区民ほか					
(4)開館日・時間	開館日：休館日（月曜日 / 12月29日～1月3日 / 特別整理期間等）を除く 開館時間：午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）					
(5)規模	延べ床面積861.04㎡ 鉄筋コンクリート造地上3階地下1階、塔屋、展示室、収蔵庫、学芸研究室、展示準備室、事務室、エントランスギャラリー、倉庫、研修室、小会議室					
(6)人員体制	7名 常勤固有職員（1）派遣職員（1）再雇用（1）研究員（1）専門員（3）					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	樋口一葉に関する資料を展示公開、施設の利用に関する事業。施設、付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓・その他環境整備などの事業。施設使用料徴収などの事業。					
(2)自主事業	特別展・企画展、一葉祭（記念講演・朗読、ボランティアと行く「たけくらべ」ゆかりの地めぐり）、特別講座（朗読サロン、文学講座、くずし字解読講座、文化カレッジ、朗読会）、文化ボランティアガイド事業。					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	19,014,000	17,896,000	16,131,000	17,365,000	16,874,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	19,014,000	17,896,000	16,131,000	17,365,000	16,874,000
決算	委託料	14,331,580	15,957,861	15,920,386	16,626,824	15,376,861
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	14,331,580	15,957,861	15,920,386	16,626,824	15,376,861
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	
開館日数	日	301	299	295	297	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 （29年度）	25年度	26年度	27年度	
入館者数	人	16,000	13,555	15,249	16,686	

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

前年に引き続き、集客の見込まれる西の市の日の開館時間延長に加え、桜の開花時期に合わせた春の臨時開館を行うなど、入館者増に向けた取組みを行った。また、企画展・特別展の間のミニ企画展の開催、例年一葉祭で好評を博しているボランティアガイドによる「ゆかりの地めぐり」を一葉祭期間以外でも実施するなど来館者ニーズに沿った事業を展開した。

8. 評価項目  
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評 価 項 目			
(1)事業の運営 平均 [2.2]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[3]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[3]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・待遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.6]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[3]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[3]
	(c)利用者数等の目標達成	[3]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価  
 S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未達）： 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評 価	説 明
(1)事業の運営	S	たけくらべ発表120周年記念として「たけくらべ」映画会の開催や企画展・特別展の間のミニ企画展の実施など積極的な事業を展開した。さらに3週にわたり春の臨時開館を実施するなど来館者サービスの向上に努めた。
(2)施設の維持管理	A	備品及び物品の管理は適切になされており、施設の修繕についても、常に区と連絡を取り合い、軽微なものについては基本協定書に基づき管理業務経費で行っている。
(3)利用者の満足度	S	連携協定を結んでいる実践女子大学准教授による記念講演や地元人形店の協力による一葉をテーマにした木目込人形展など関係団体との連携を図った事業を実施した。また、人気の「たけくらべゆかりの地めぐり」を一葉祭期間以外にも実施し、好評を博した。
(4)収入支出	A	事業の効率化に努め、適正に予算の執行がなされている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

<b>良好</b>	地域との関わりや連携協定を生かした事業の充実、来館者のニーズに沿った事業への取組み、集客が見込まれる西の市の日の開館時間延長や春の臨時開館などの運営努力が更なる入館者増に繋がった。
-----------	--

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

西の市の日の開館時間延長などの来館者サービスを継続していくのと同時に、今後もニーズに沿った事業を展開し、来館者の満足度の維持、関係団体との連携の充実に取り組んでいく。